



社会福祉法人

熊野緑会

KUMANO MIDORI KAI

総合事業案内資料



ONE TEAM
for the Heartful Future



社会福祉法人

熊野緑会

KUMANO MIDORI KAI

やさしさが心を満たしてくれる、
みんなの居場所へ

ONE TEAM
for the Heartful Future

Kindness Brings Us Together

PURPOSE 熊野緑会の目指す社会

やさしさが心を満たし、
人と地域を結ぶ

みんなが心から安心して、幸せに過ごすことができ
地域に開かれたやさしくて楽しい場所へ。

熊野緑会やこの地域に住むすべての人がともに心から幸せに過ごし、
安心な環境で自己実現ができ、
地域に開かれたやさしくて楽しい場所。

そんな情景を想像すると、自然とやさしさが心を満たしてくれるような感覚になります。
私たちは、そのような感覚で人と地域とがつながり、
新宮にとってなくてはならない場所となれるような福祉を目指しています。

INDEX

- P02 熊野緑会の目指す社会
- P04 熊野緑会をみんなの居場所に
- P05 代表メッセージ
- P06 なぎの木園・生活介護事業について
- P08 第二なぎの木園について
- P09 就労継続支援B型事業・放課後等デイサービス事業「すみれ」について
- P10 グループホーム事業について
- P11 スタッフインタビュー

熊野緑会をみんなの居場所に

利用者にとって



自分らしく、心から幸せに過ごせる場所へ

利用者にとって「その人らしく」毎日を過ごしていくことができるために、安心、安全な環境づくりと笑顔を引き出す支援を。

職員にとって



挑戦と成長と誇りある場所へ

成長するためには、挑戦が必要であり、挑戦するためには、それを支える安心な職場環境が必要になる。そして、その循環は誇りある職場をつくる。

社会にとって



福祉と地域をやさしくつなぐ場所へ

福祉施設を地域に開き、地域住民とつながり、互いに優しさを持って楽しい地域をつくっていく働きかけを。

ONE TEAM

私たちは、「ONE TEAM」を合言葉に、職員が一体となることで利用者様にとっても安心して過ごしていただける、環境づくりを行なっています。

支援の心得

1. ありがとうを大切にする。
2. 丁寧な言葉づかいとおもてなしの心をもつ。
3. みんなのいいところにスポットを当てる。
4. 自分のものさしで測らない。
5. 「自覚」と「責任」を持つ。
6. 一人で悩まない。
7. 真面目に遊ぼう。



誰もがその人らしく過ごせる 居場所を目指して

当法人は1989年1月、新宮市木ノ川での設立以降、長きにわたり地域福祉に携わってまいりました。2025年9月には新宮市佐野へ新施設として移転し、新たな一歩を踏み出します。地域の皆様の温かいご支援、そして職員一人ひとりの尽力に、心より感謝申し上げます。社会の価値観や生活様式が大きく変化する中であっても、私たちは柔軟に対応しながら、地域に根ざした福祉のあり方を模索し続けております。今後も地域と共に歩み、「なくてはならない存在」であり続けることを使命とし、職員が誇りを持ち、胸を張って働ける職場づくりに力を注いでまいります。そして、誰もが安心して暮らせる社会の実現に貢献してまいります。

代表メッセージ



なぎの木園
理事長

大前 裕一 OMAE YUICHI

ご利用可能なサービス

生活介護

施設入所支援

短期入所

計画相談支援

令和7年7月に開設した障害者支援施設です。施設入所をはじめ、生活介護や短期入所のサービスをご提供しています。居住棟は4つのユニットに分かれており、全室個室。居室は最も長い時間を過ごす大切な空間だからこそ、好きな家具を置いていただけるようにするなど、ご自宅のように安心できる環境を

サポートいたします。管理棟2階には多目的ホールを設置。ご利用者様の自由スペースや職員研修のほか、地域の方々にも会議や講演会、または災害時の避難所等としてご利用いただければ幸いです。私たちは法人理念のもと、思いやりとおもてなしの心を大切に、地域に愛される施設を目指して参ります。

2025年7月
 新設



OFFICE **施設の特徴**

FEATURE **01** 一人一部屋の綺麗な環境



全室個室の専用居室で、プライバシーが守られた快適な環境をサポート。家具やレイアウトはお好みに調整いただけます。Wi-Fi完備なので、タブレット端末の使用やネット番組の視聴も可能。

FEATURE **02** 地域に開かれた好立地



周辺にスーパー、ホームセンター、ファッションセンター、病院、駅が揃う便利な立地。イベントや活動の場としても開放し、利用者の方々と地域社会がつながる機会を増やせるよう努めています。

FEATURE **03** 定期的な往診で安心



内科、精神科、歯科の定期往診を実施し、健康管理を徹底しています。整備された医療体制のもと、日々の体調変化にも速やかに対応。健康面の不安を軽減し、充実した生活を支援いたします。

SERVICE **事業紹介**

生活介護

主に日中の入浴や排せつ、食事支援等を提供し、生活に関する相談や助言を行います。また日中活動や、創作・生産活動、地域交流等の様々な機会を通して、ご利用者様の意思を尊重した支援を心がけています。

施設入所支援

主として夜間の入浴や排せつ、食事支援等を提供し、相談や助言など日常生活に関して必要な支援を行います。ご利用者様の趣味や趣向を大切に、ご本人らしい生活が実現できるようサポートいたします。

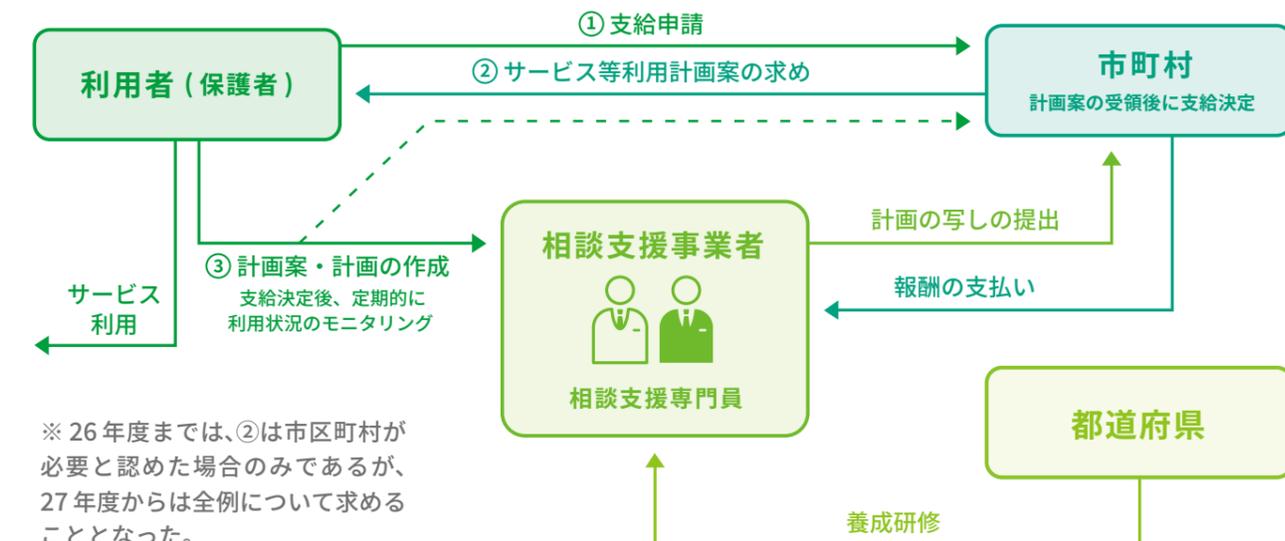
短期入所

短期入所の入浴や排せつ、食事支援等を行います。介護者様の休息や急用、病気時、または介護を必要とするご本人が一時的に自宅生活が困難になった場合など、安心して過ごせる場所としてご利用ください。

計画相談支援

地域や関係機関と連携を取り、障がいの特徴をよく理解した相談支援専門員が、ご本人やご家族の意向を大切に丁寧な支援を行います。状況や課題、ご希望を把握し、支援の優先順位を整理。必要とされるサービスを適切に調整し、必要に応じて計画を見直ししながら、ご本人の理想とする生活や、ご自身らしい暮らしの実現を目指します。

利用プロセスのイメージ



設備紹介

プライバシーが守られた全室個室、Wi-Fi完備の快適な環境を提供します。ご自宅のように安心して過ごしてください。管理棟2階の多目的ホールは、ご利用者様の自由スペースとなっています。



多目的ホール



利用者スペース



廊下・手洗い場

平成 23 年 4 月に設立し、現在は「就労継続支援 B 型事業」「放課後等デイサービス事業『すみれ』」「指定相談支援事業所『ぶらす』」を運営しています。就労支援では作業活動を通じ、一般就労が難しい方が「働く喜び」や「社会とのつながり」を実感できる環境を支援。「すみれ」は、発達に特性のある小学生

から高校生を対象に、放課後や長期休暇中に安心して過ごせる場を提供します。「ぶらす」は、障がいのある方やご家族が安心して生活できるよう、サービス等利用計画の作成や見直しをサポート。第二なぎの木園は、人と地域のつながりを大切に、これからも地域に愛される施設を目指してまいります。



OFFICE 施設の特徴

FEATURE 01 長くともに歩める居場所



第二なぎの木園では、放課後等デイサービスと就労継続支援 B 型を併設しています。子どもたちには職業体験の機会もあり、将来を見据えた過ごし方や関わり方ができる環境が整っています。

FEATURE 02 安全に楽しく過ごせる設備環境



子どもから大人まで利用する施設だからこそ、利用者の方々が安全に楽しく、いきいきと過ごすことができる環境や、誇りとやりがいを持って働ける仕事内容および設備を整えています。

FEATURE 03 多様なニーズに対応できる柔軟さ



学校やご家庭でのお悩みを持つお子様から、日中活動の場が必要な若者まで、多様なニーズにご対応します。また、長期的な視点で一緒に支援計画を考案しますので、保護者の方もご安心ください。

就労継続支援 B 型事業

自主製品の和歌山サブレを中心とした菓子製造や、導線カットなどのリサイクル作業、清掃や雑貨製作といった多様な選択肢の中から、一人ひとりの強みや特性、体調、年齢に合った作業に取り組んでいただけます。また、心身をリフレッシュするレクリエーションや、ご利用者様同士の親睦が深まる機会を設けており、年代を越えたつながりを育む、笑顔の絶えない場所となっています。

ここが緑会クオリティ！

スイーツ甲子園でグランプリのお菓子、「naginoha」の製造

旅の安全と良い思い出を願う守護。贈る相手との良縁。椰＝風由来する程やかな味わい。裏表のない正直さ。自主ブランド「naginoha」には、これらの4つの想いが込められています。お菓子を通して生産地の背景まで伝え、人やもの、地域など、様々な縁を結びたいという願いから形になった和歌山サブレをはじめ、和歌山の素材を使った焼菓子をお届けしています。



放課後等デイサービス事業「すみれ」

放課後等デイサービスとは、障がいのあるお子様や発達に特性のあるお子様の自立促進を目的に、学校終了後や長期休暇中において生活能力向上の支援を提供する、児童福祉法に基づくサービスです。5領域支援プログラムと年間計画表に従い、年間 70 種類の活動を計画的に実施。休日は 2 つの活動を設定し、様々な経験や成功と失敗を重ねることで、お子様が成長できるようサポートします。

ここが緑会クオリティ！

芝生の広場でのおびのび過ごす！イベントも充実

「すみれ」のテーマは、お子様が「楽しく遊ぶ・過ごす・学ぶこと」と「地域社会への積極的な参加」です。第二なぎの木園には芝生の広場があり、おびのびと楽しみながら過ごせる環境が整っています。地域イベントへの参加や遠方へのお出かけなど、多様な体験を重ね、ここで過ごした時間が一人ひとりにとってかけがえのないものとなるよう、スタッフ一同、日々工夫を重ねながら支援を行います。



グループホームは「みどり」「くまの」「あおば」という名称で3つの共同生活住居があります。利用者さん同士で協力しながら生活を送る場所となります。

平成12年に設立。利用者様にとって「もうひとつの家」と感じられるような施設を心がけ、「くまの」「みどり」「あおば」の3つのホームを運営しています。支援内容は、家庭的な雰囲気の少人数での共同生活における、食事や入浴、掃除等の身の回りのサポートです。障害のある方が安心して自分らしい暮らしが

できるよう、一人ひとりの思いやご自身にできることを尊重しながら、自立に向けた一歩を支えます。また、地域行事への参加や交流を通じて「地域の中で暮らす喜び」を実感できる環境づくりを心がけています。ご家族にとっても心強い支えとなれるよう、笑顔あふれる暮らしを共に築いてまいります。



OFFICE 施設の特徴

01 好立地で
買い物も快適



家庭的な環境を目指し、閑静な住宅街の戸建てを活用したグループホームです。就労先やスーパー等の商業施設が近く、通勤や買い物に便利。休日のお出かけもやすく、暮らしやすい立地です。

02 天然木材の
温かな住環境



自然素材の木を使用した住まい。明るく温かみのある家庭的な空間が、安らぎや心地良い雰囲気を育んでいます。ご利用者様からも、このグループホームで良かったと喜びの声をいただいています。

03 自立した生活と、
安心の支援



必要な支援を行いつつ、ご利用者様がご自身でできることを尊重し、自信と共に生活スキルを向上できるようサポートします。職員間で方針を共有し、個々のペースに応じた最適な支援を実行します。

STAFF

スタッフインタビュー

INTERVIEW _ vol.01

なぎの木園
生活介護 施設入所支援

主任

澤 福太郎

SAWA FUKUTARO



施設入所支援は、利用者さんが安心して日常生活を過ごせるようにサポートする大切な住まいです。その中で、私は「言葉」を大切にしています。落ち込んだり失敗した時、プラスの言葉を使うことで前向きな気持ちになり、「大丈夫」という言葉は安心感をもたらします。ポジティブな言葉が心がることで、利用者さんだけではなく、保護者さんともより良い関係を築くことができると考えています。子を預ける親の立場になり、利用者さん保護者さん共に、なぎの木園で生活できて良かったと思ってもらえる場にしていきます。

INTERVIEW _ vol.02

なぎの木園

管理栄養士

山本 理奈

YAMAMOTO RINA



私は管理栄養士として主に献立作成を行っています。そのため直接的な支援には携わっていませんが、献立を立てる際には栄養バランスだけではなく、利用者さんからのおいしかったといった声を取り入れ、残食から好き嫌いの把握をし、少しでも快適に過ごしていただけるよう、食事の面からサポートしています。また職員間で情報共有し、利用者さん一人ひとりに合った食事量や食事形態になるようにしています。直接的な支援ではないからこそ、利用者さんだけではなく様々な方面からの声に耳を傾けることを大切にしています。

INTERVIEW _ vol.03

第二なぎの木園
就労継続支援 B 型

主任・サービス管理責任者

加藤 剛

GO KATA



私が一番大切にしていることは、利用者さまの意思を尊重することです。支援はご本人さまのニーズに合わせて行われるべきであると思います。何が最善かを職員が決めるのではなく、しっかりとご本人さまの声に耳を傾け、選択肢をわかりやすく提示しながら一緒に考える姿勢を心がけております。また、支援はチームで行うため、情報共有の質は職場の雰囲気に直結します。報・連・相を丁寧に行える雰囲気づくりにも気を配り、日々の業務に取り組んでいます。その積み重ねが、より良い支援へつながると考えています。

INTERVIEW _ vol.04

第二なぎの木園
指定相談支援事業所ぶらさ

相談支援専門員

森岡 あゆみ

MORIOKA AYUMI



私が支援をしていく上で一番大切にしていることは、「丁寧なコミュニケーション」です。利用者さんとの日常会話の中で、日々変化していく小さなサインやニーズに敏感に気づき、丁寧に対応していくことで、その人らしい生活へと少しずつ近づいていけると考えています。毎日の積み重ねが、やがてその人の人生そのものになります。だからこそ、その大切な時間に関わり続けられるよう、私自身も学びを重ね、専門性を磨き、成長して質の高い支援を提供していきたい。そう考えながら業務に取り組んでいます。



社会福祉法人

熊野緑会

KUMANO MIDORI KAI

COMPANY

法人概要

法人名 社会福祉法人 熊野緑会 (しゃかいふくしほうじんくまのみどりかい)

法人設立 昭和 62 年

所在地

なぎの木園	〒647-0071 和歌山県新宮市佐野 1378	TEL 0735-31-5371(代)	FAX 0735-31-7789
第二なぎの木園	〒647-0081 和歌山県新宮市新宮 3415-1	TEL 0735-22-5374(代)	FAX 0735-22-5375
グループホームくまの	〒647-0081 和歌山県新宮市新宮 8002-97	TEL 0735-22-5371(代)	FAX 0735-21-1550

お問い合わせ先 info@kumanomidori.or.jp

事業内容

第一種社会福祉事業

1. 障害者支援施設の経営

第二種社会福祉事業

1. 障害児通所支援事業の経営
2. 障害児相談支援事業の経営
3. 障害福祉サービス事業の経営
4. 一般相談支援事業の経営
5. 特定相談支援事業の経営

WEB



Instagram





COMPANY

法人概要

法人名 社会福祉法人 熊野緑会 (しゃかいふくしほうじんくまのみどりかい)

法人設立 昭和 62 年

所在地

なぎの木園	〒647-0071 和歌山県新宮市佐野 1378	TEL 0735-31-5371(代)	FAX 0735-31-7789
第二なぎの木園	〒647-0081 和歌山県新宮市新宮 3415-1	TEL 0735-22-5374(代)	FAX 0735-22-5375
グループホームくまの	〒647-0081 和歌山県新宮市新宮 8002-97	TEL 0735-22-5371(代)	FAX 0735-21-1550

お問い合わせ先 info@kumanomidori.or.jp

事業内容

第一種社会福祉事業

1. 障害者支援施設の経営

第二種社会福祉事業

1. 障害児通所支援事業の経営
2. 障害児相談支援事業の経営
3. 障害福祉サービス事業の経営
4. 一般相談支援事業の経営
5. 特定相談支援事業の経営

HP



Instagram

